

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年 6月 22日	
栃木県知事 福田 富一 様	
提出者 株式会社GFF 小山工場 住 所 栃木県小山市延島 2370-11 氏 名 工場長 沼尾 智也 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0285-39-1525	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社GFF 小山工場
事業場の所在地	栃木県小山市延島 2370-11
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	34.3億円/年
③ 従業員数	219名(クルー200名、社員19名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

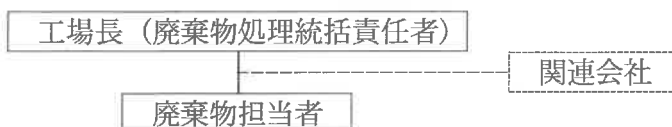
役割

- ・統括責任者兼廃棄物担当 : 小山工場工場長 沼尾 智也
- ・廃棄物担当 : 他2名

業務内容

- ・統括責任者 : 廃棄物発生量に関する管理
- : 廃棄物削減に関する検討
- ・廃棄物担当 : 廃棄物数量管理

組織図



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 (2022年度) 実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥
排出量	1517.920 t	8.120 t
産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
排出量	0.090 t	0.140 t
産業廃棄物の種類	金属くず	
排出量	1.260 t	t

(これまでに実施した取組)

- 1、作業工程の見直しによる歩留り向上。
- 2、野菜クズの脱水処理。
- 3、仕入れ時の原料品質向上。

② 計画

【目標】前年比生産重量当り5%削減

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥
排出量	1442.024 t	7.714 t
産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
排出量	0.086 t	0.133 t
産業廃棄物の種類	金属くず	
排出量	1.197 t	t

(今後実施する予定の取組)

- 1、原料落下防止による歩留り向上
- 2、動植物性残渣の灰化

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・動植物性残渣、木くず、廃プラスチック類、汚泥、金属くず、ガラス、陶磁器くず、廃油

② 計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・現状維持

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 1、自社での乾燥による飼料化（コストが合わず未実施） 2、たい肥化プラント導入（コストが合わず未実施）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥
	全処理委託量	1517.920 t	8.120 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1517920 t	8.120 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 1、全量リサイクル化		

(第5面)

② 計画	【目標】前年比生産重量当り5%削減		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥
	全処理委託量	1442.024 t	7.714 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1442.024 t	7.714 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	全処理委託量	0.090 t	0.140 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.090 t	0.140 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

② 計画	【目標】前年比生産重量当り5%削減		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	全処理委託量	0.086 t	0.133 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.086 t	0.133 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全処理委託量	1.260 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1.260 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		



(第5面)

② 計画	【目標】前年比生産重量当り5%削減		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全処理委託量	1.197 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1.197 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

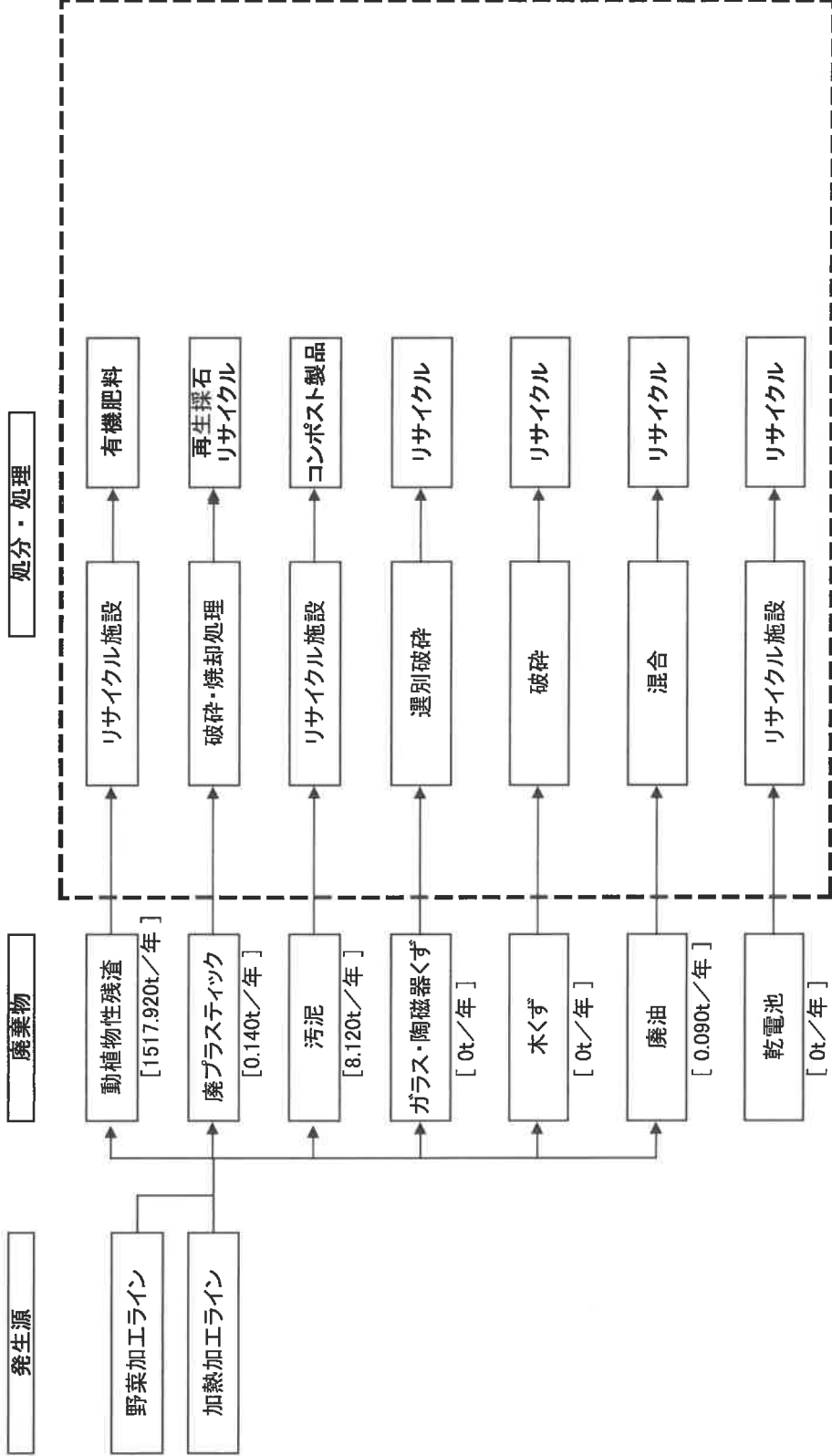
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和4年度 GFF小山工場 産業廃棄物処理工程  
収集運搬

ゴミ種類	ゴミ内容	収集運搬	中間処理	処理方法	最終処分業者	処分方法
産業廃棄物	動植物性残渣	株式会社鷺商 2028年6月16日	株式会社鈴木産業 2023年7月23日	発酵	中間処理場と同じ	有機肥料リサイクル
	廃プラスチック	株式会社鷺商 2028年6月16日	株式会社ジャパンクリン 2025年6月29日	焼却	中間処理場と同じ	管理型埋立
	汚泥	株式会社鷺商 2028年6月16日	株式会社タカヤマ 2025年1月12日	脱水	株式会社ピラミッド	有機肥料リサイクル
		三栄管理興行株式会社 2023年12月1日	株式会社京葉興業 2023年11月21日	脱水	中間処理場と同じ	有機肥料リサイクル
	ガラス陶磁器クズ	株式会社鷺商 2028年6月16日	J&T環境株式会社 2025年3月31日	破砕	中間処理場と同じ	資源リサイクル
		株式会社鷺商 2028年6月16日	リムーブ・テクノロジーズ株式会社 2025年3月	破砕	中間処理場と同じ	資源リサイクル
	木くず	株式会社鷺商 2028年6月16日	株式会社ユキ工業 2026年12月20日	破砕	中間処理場と同じ	資源リサイクル
	廃油	株式会社鷺商 2028年6月16日	リムーブ・テクノロジーズ株式会社 2023年2月	油水分離	中間処理場と同じ	資源リサイクル
	乾電池	株式会社鷺商 2028年6月16日	J&T環境株式会社 2025年3月31日	破砕	中間処理場と同じ	資源リサイクル
	可燃物	株式会社鷺商 2028年6月16日	無し	無し	小山市清掃センター	焼却
一般廃棄物	資源物	ISTータルサポート	無し	無し	株式会社中商	古紙リサイクル

令和4年度 GFF小山工場 産業廃棄物処理工程

廃棄物処理フロー図



→ : 廃棄物処理の流れ

- - - : 委託業者処理部分

本図に示されるとおり、当工場から排出される廃棄物は殆どが動植物性残渣となっている。当工場では、処理する施設がない為、委託業者に処理をお願いしているが、それらは全てリサイクルへ回され、有機肥料として回収されている。